

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 (14)	今後は、利用者との会話のみならず、利用者と家族間での共有する話題であっても、利用者と家族との関係や必要性を考慮し話をするなど、利用者一人ひとりの立場の違いにも視点を持ち、プライバシーの理解を深め、安心して生活ができる環境を期待したい。	定期的にプライバシーの学習会を行い、職員一人一人がプライバシーへの理解を深める	①会議でプライバシー保護マニュアルの再確認を行う ②年1回、プライバシーの学習会を行う ③虐待の芽チェックリストとともに、プライバシーチェックリストを実施し、職員間で意見交換し、振り返りを行う	2ヶ月
2	6 (5)	定期的な研修を継続して実施しており、職員の意識づくり等への配慮が見られ、身体拘束防止や虐待防止を確実に実践していこうとする様子を感じられる。今後は参加したこと、教材資料で学んだことへの確認印と、それらの研修で何を学び、どのように感じ、今後自らのケアにどう生かしていこうかを考えたかなど、参加で得た事柄を自ら文章化し、記録に残すことが望まれる。研修参加で学んだことが、個別にファイルされ、ケアに生かされることを期待したい。	学習会に参加できなかった場合は、資料を読み、学んだことを文章化し、学びを深める	①学習会資料ファイルの存在を明らかにする ②学んだことを記入する用紙をバージョンアップさせる ③学習会に参加できなかった職員へ用紙を配布し、全員が学習する機会を設ける ④学習会へ参加した後の感想文をコピーし、管理者と職員個人で保管し、学びを振り返る	2ヶ月
3	35 (13)	今後は、災害時に誰が、いつ、何をするか等、各担当者をあらかじめ決め、必要な物資、備品が整理準備され、持ち出し方法も含め文章化されるとともに職員全員が共有し、地域社会と連携し利用者の安全を守り、避難生活が継続できるよう、より具体的な事業継続計画(BCP)が作成されることを期待したい。	災害時に必要な物資、備品の確認を行い、持ち出し方法を分かりやすく、文章化する。また、現在の事業継続計画により具体的な内容を追加する	①災害時に必要な物品、備品の準備と整理を行う ②持ち出し物品の文章化を行う ③現在の事業継続計画を見直し、より具体的な内容(職員の動き、時間帯別の役割等)を追加する ④災害訓練時に避難に必要な物品、備品の確認を行う	6ヶ月